資料4

「とくしま 目安箱」に寄せられた建設的な意見・提言

番号	意見・提言の内容
1	○Ｔ・Ｋブランド藍グッズの新デザイン募集について 　藍ブランドの更なる知名度を高めるため，新デザイン商品を県民から公募し，１０点を選定して，開発・商品化し，積極的に販売してはどうか。 　県民の藍ブランドに対する関心，意識が大幅にアップするとともに，東京オリンピックエンブレムの知名度とリンクして相乗効果が期待できると思う。
2	○民泊について 　阿波おどり期間中，ホテルが予約できなくて，高松から期間中毎日通っていたと聞いたことがあるので，阿波おどり期間の前後だけでも，空いているアパートやマンションで民泊ができたら良いと思う。 　民泊が認められれば，周辺の飲食店や貸し布団店などの商売も潤うと思う。
3	○オリンピックオープニングに阿波おどりを 　オリンピックの開会式に，一糸乱れぬ阿波おどりが登場すれば，世界中の人が注目し，絶賛すると思う。
4	○コミュニティバス拡充について 　県内でのコミュニティバス導入推進について，交通網の拡充は県全体の活性化にも繋がると思う。 　利用しやすい時間帯に特化して最低限の便数にする，安価な小型車を使う等の工夫により，多くの地域でこのサービスが広がって欲しい。
5	○小松島港の有効利用について 　小松島港周辺を，県内外からの集客を見込むバーベキューサイトにしてはどうか。オートキャンプ場やバンガローも併設できれば一層良いと思う。 　また，港湾にマリーナを建設し，周辺地域からの，プレジャーボートやヨットでの来場を売りにすると話題性と需要もあると思う。県産野菜や食肉・魚・焼きちくわなどの販売も行うことで，徳島食材のアピールにもなり，売上収入も見込めるのではないか。
6	○大学と一般の方との関わりについて 　大学と一般の方々との関わりを強くしてもらいたい。生涯教育の流れがある中，大学という教育の場をもっと活用し，多くの人と関わることで，今日欠如していると言われているコミュニケーション能力の向上が期待できるうえ，その土地を愛することにもつながり，徳島県の人口減少を防ぐことにもなるのではないか。
7	○「住んでみんで徳島奨学金」をつくり「若者移住」を 　県内から県外へ進学した人に対しては「とくしま回帰」を条件に，また，県外者へは「徳島移住」を条件に，奨学金を優遇し，奨学生には徳島の魅力や就職，住まいの情報を定期的に提供し，長期休暇時には「プチ徳島留学」や「県の政策提案アンケート」等，卒業前から徳島を身近に感じるような企画・援助を行ってはどうか。
8	○徳島を日本のビジネスが生まれる場所にする 　ビジネスで利益を出し，お金・人・モノ・情報を徳島に循環させていくことが雇用の促進・税収の増加・地域の活性化に繋がると思う。 　ビジネスコンテストやオーディション形式でのアイデア発表の機会をたくさん作り，世界中の投資会社や投資家を集めて資金調達し，徳島でビジネスの花を咲かせる。それを日本一の規模で行ってはどうか。1000個のビジネスから世界を驚かすビジネスがきっと生まれます。
9	○徳島駅に駅メロを 　「駅メロ」は，その駅を中心とした街にシンボリックなイメージを与えるだけではなく，地域にまつわる応援歌や伝統曲を伝える絶好のアピールポイントともなる。 　初めて駅を使う観光客，いつも駅を利用している通勤・通学客，帰省や出張でたまに訪れる人々，誰にとっても〝徳島に来た〟〝徳島に住んでいる〟という強烈なイメージを残せると思う。
10	○阿波おどり期間限定のスマホアプリなど開発してはどうでしょう 　リアルタイムに，どこになんという連がいるのかが全て分かる阿波おどりアプリを作成し，システムを運用してみてはどうか。